

2021年度第4回町田市子ども・子育て会議

リモート開催議事要旨

【開催概要】

日 時：2022年2月10日（木）18：00～19：30

開 催：リモートでの開催

【議事次第】

1 開 会

2 事務連絡

3 議 題

- ・「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書の最終確認・承認について

4 報 告

- (1) 2022年4月 認可保育所等への入所申込み等の状況（1次選考）について
- (2) 2022年度学童保育クラブ一斉入会申請等の状況について
- (3) 子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)2021年度取り組み内容及び自己評価結果について
- (4) 「保育料及び育成料のあり方検討」について
- (5) 2022年度子ども・子育て会議年間スケジュール

5 その他

6 閉 会

【配布資料】

- 資料1 「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書（素案）への意見等一覧
- 資料2 「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書（案）
- 資料3 2022年4月 認可保育所等への入所申込み等の状況（1次選考）について
- 資料4 2022年度学童保育クラブ一斉入会申請等の状況について
- 資料5 子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)2021年度取り組み内容及び自己評価結果について
- 資料6 「保育料及び育成料のあり方検討」について
- 資料7 2022年度町田市子ども・子育て会議年間スケジュール

2021年度第4回町田市子ども・子育て会議 委員出席者

子ども・子育て会議 委員

氏名	所属	出欠
◎吉永 真理	昭和薬科大学	出
○鈴木 美枝子	玉川大学	出
小林 保子	鎌倉女子大学	出
駒津 彩果	東京三弁護士会多摩支部	出
矢口 政仁	町田市私立幼稚園協会	出
関野 鎮雄	町田市法人立保育園協会	出
馬場 昭乃	町田市社会福祉協議会	出
鶴田 尚子	社会福祉法人 福音会	欠
工藤 成	町田市立小学校校長会	出
高橋 博幸	町田市立中学校校長会	出
森山 知也	東京都立町田の丘学園	出
赤木 律子	町田市民生委員児童委員協議会	出
鈴木 暁代	町田市立中学校 PTA 連合会	出
風張 眞由美	町田市医師会	出
澤井 宏行	町田商工会議所	出
金井 玲奈	市民	出
岸 洋一郎	市民	出
高倉 麻依子	市民	出
福田 麗	町田市青少年委員の会	出
酒井 恵子	町田市障がい児・者を守る会すみれ会	出

◎会長 ○副会長

・備考：傍聴者（0名）

2021年度第4回町田市子ども・子育て会議 事務局出席者

氏 名	所 属
神田 貴史	子ども生活部部長
鈴木 亘	子ども生活部子ども総務課課長
早出 満明	子ども生活部児童青少年課課長
大坪 直之	子ども生活部保育・幼稚園課課長
市川 裕之	子ども生活部子育て推進課課長
江藤 利克	子ども生活部子ども家庭支援センター長
石崎 進	子ども生活部子ども発達支援課課長
新谷 太	子ども生活部子ども発達支援課相談・療育担当課長
守屋 靖	子ども生活部大地沢青少年センター所長
川瀬 康二	保健所保健予防課担当課長

子ども総務課事務局：奥 雅文、吉田 織子、尾島 早紀

【議事内容】

1 開会

子ども総務課企画総務係長：定刻となりましたので、ただいまから、2021年度 第4回 町田市子ども・子育て会議を開会いたします。

始めに、本日のリモート会議の注意点をお伝えいたします。発言する時は、マイクを「ON」、画像も「ON」に設定をお願いいたします。その上で、最初にお名前を言ってください。発言時以外は、マイクは「ミュート」、画像は「OFF」をお願いいたします。（画像の確認）皆様よろしいでしょうか。

会議の開催についてですが、半数以上の委員のご出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。また、会議の運営についてでございますが、議事要旨作成のため、会議の内容を録音させていただきます。あらかじめご了承ください。

本日の会議でございますが、1時間半程度を目安に進行してまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしくをお願いいたします。会議の公開についてですが、リモート開催のため、傍聴の方は申込みの上、別室にて視聴するというかたちをとっております。今回申込みはございませんでしたので、傍聴の方はいらっしゃいません。

2 事務連絡

子ども総務課企画総務係長：それでは、会議を進めさせていただきます。ここからの進行につきましては、吉永会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

吉永会長：皆さん、こんばんは。今回は、皆さんがご意見をたくさん寄せてくださいましたので、まず冒頭で担当部署から「意見等一覧」について説明をしていただきます。ご意見は、合計で93箇所ありました。そして、「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書の最終確認をし、承認までいきたいと思っております。それでは、事務局から説明をお願いします。

3 議題

- ・「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書の最終確認・承認について

〔資料1・2の説明〕

吉永会長：事務局より説明がありました。委員の皆様には、丁寧に読み込んでいただき、ご意見ありがとうございました。今の説明を受けて、さらに質問等があるかと思えます。リモートですので、はじめに資料の番号とページ、何段落目などを伝えたいので、質問内容をお話しいただくと助かります。それでは、お願いいたします。

関野委員：資料2のP44「2 様々な保育事業」についてです。対前年比を入れるのは良いのですが、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅にマイナスになっているので、これを見た時に「この事業は要らない」と思われる恐れがあることを懸念しています。その点を検討していただければと思います。

吉永会長：確かにその通りで、これは大事な点だと思います。どう対応しますか。

子育て推進課長：確かに、対前年比マイナスについては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいかと思えます。いただいたご意見を基に実績を表示することといたしましたので、数値について注意書きを入れる、実績のみの表示とするなど、誤解を招かないように表示の方法を検討させていただければと思います。

関野委員：2019年度の実績も表示していただいて、大幅なマイナスについては新型コロナウイルス感染症の影響についての文言を入れるなど、方法を検討していただければと思います。

矢口委員：同じくP44「2 様々な保育事業」についてです。2020年度の実績報告は、一時預かりなどは2019年度の実績報告に準じるというかたちで私たちは報告していますが、これはそれを基にしているのか、みなしの実績は除いているのか、教えてください。2020年度は自粛要請があった関係で、2019年度実績をその期間は代用しています。そのため、一時保育などは、本来とは違う数値になっていると思います。2019年度もあわせて載せるか、新型コロナウイルス感染症の影響の文言を入れないと、事業自体の必要性が見えなくなるのではと懸念しています。

関野委員：4～6月については登園自粛で、2019年度実績で提出して良いとのことであったかと思えます。その部分は、2019年度分のデータが入り込んでいる可能性があるかと思えます。

子育て推進課長：この数値は、延べ人数で表示させていただいております。こちらで把握している数値を載せていますが、今のご意見を踏まえ、誤解を招かないように表示するようにいたします。

岸委員：資料1のP7番号28についてです。資料2だとP27です。保育ニーズに対して市と事業所で相違があった部分に対して、ズレていることは問題ではないかとの意見を出しました。それに対して、この部分が異なっていますとの回答をいただきましたが、その部分に対する対応が要るのか要らないのかなど、異なっているからどうするのかが分からなかったので、コメントをもらえればと思います。

子育て推進課長：今回、市と事業者の相違などの部分について改めて確認・認識したところです。具体的な対応等については、これから事業者の方と適正化を進めるにあたり、情報提供を含めてどのようにしていくか、検討するうえで課題として考えています。この時点では具体的な事まで記述できていないという状況です。

岸委員：事業者側は周辺住民の要望を聞いたうえでのニーズだと思います。市側の事実に基づく部分も大切だと思うので、市側でも要望を取込んでいくということができれば、相違の部分が縮まってより良いものになるのではと思います。

小林委員：資料2のP54からの「第6章 提言」の部分になります。提言の語尾を「望ましい」に統一されたとのことですが、提言2の説明部分の最後に「望む」とあるのは、「望ましい」と「望む」は違うのではないのでしょうか。提言の一般的な定型があるとは思いますが、「望ましい」にした理由を教えてください。

子育て推進課長：提言の表現の仕方については、目指す姿に視点を置いて、そこに至ることを理想とした位置付けで、それぞれの提言があると考えたところです。それを踏まえて、「望ましい」を統一した文言として提案させていただきました。

小林委員：目指す姿があって、そこに向かっていく方向が「望ましい」ということですね。やはり少しやわらかいイメージがあるのだと思いました。

吉永会長：それでは、提言2の下の「望む」は修正が必要ですね。

子育て推進課長：ご指摘いただきました点について、修正させていただきます。

吉永会長：資料1について、93箇所ご意見があって、そのうち要検討が6箇所ありました。これは検討するということでよろしいですか。

子育て推進課長：要検討につきましては、それぞれの内容によって進め方は異なりますが、課題として捉え検討していくことが必要と考えています。

小林委員：資料2のP44「2 様々な保育事業」についてです。ここにファミリー・サポート・センター事業を入れるのは、様々な保育事業とはちょっと違う気がしたので前回質問をしましたが、ここに入れるとの回答でした。報告書の前半部分のポイントにあった、送迎保育ステーションは入っていませんが、大事な事業だと思います。

す。ここに入れなくて良いのでしょうか。

子育て推進課長：「子ども・子育て支援事業計画」の地域子ども・子育て支援事業を中心にまとめさせていただきました。送迎保育ステーションも大事な事業ですが、他の保育事業とのバランスを踏まえて、この中に入れる必要があるか検討させていただきます。

矢口委員：答えていただいた中で、「検討」や「参考」は具体的にいつまでに行われるのかを教えてくださいたいです。2月1日の国の子ども・子育て会議の中でも、利用定員の変更については、スムーズにとの話がありました。私たちもルールがないと動けないので、これから検討するのは分かりましたが、どのくらいの期間でいつまでにやっていくのか、もう少し具体的なものは出ないのでしょうか。

子育て推進課長：利用定員の考え方を整理するところは、今回の諮問の中でも大事な要素だと考えています。それだけに事業者の方々にとっても、関心が高いところだと思います。できるだけ早くとは考えていますが、様々な課題も出てくるかと思うので、事業者の方々と話をして丁寧に進めていきたいと考えています。時期等についても、話し合う中で目処を立てていきたいと思っています。

矢口委員：非常に難しい状況にあることは分かりました。資料3にもある4月からの子どもたちの状況を踏まえ検討していただければと思います。

吉永会長：他の委員の方はいかがですか。

金井委員：お伝えしたところは反映していただいていますので、大丈夫です。

酒井委員：資料2のP44「2 様々な保育事業」についてです。実績の数値を入れていただきましたが、前年比の部分は新型コロナウイルス感染症の影響があると言われていただいた方が良くと思います。

子育て推進課長：酒井委員のご意見から、実績の部分を加えさせていただきましたが、表示の方は調整させていただければと思います。

吉永会長：他の委員の方はいかがですか。

駒津委員：意見を書いた部分は反映させていただいて、ちょっと分かりにくいと思う部分もありましたが、もう一度見直したいと思います。

風張委員：引き続き検討していただければと思います。

馬場委員：資料2のP54「第6章 提言」の部分になります。提言1に「10年先を見据えた教育・保育施設の適正規模・適正配置計画を策定することが望ましい。」とありますが、これは意見にも書きましたが、これを至急やっていただいて、方向性

が出て具体的に行えば、市民も事業者も先の展望が見えると思うので、重ねてお願いいたします。

子育て推進課長：適正規模・適正配置については具体的に進めて行ければと思っています。いただいたご意見を参考に進めていきたいと考えています。

吉永会長：他の委員の方はいかがですか。

高橋委員：特にありません。良く作成していただいてありがたいなと思います。

工藤委員：皆さんの叡智が詰まっている提言ですので、具体的に見える形になると良いと思っています。

鈴木副会長：資料2のP47「第4章 教育・保育の質の向上への取り組み」について、図を入れていただいたので、分かりやすくなったと思います。その他に、資料1のP12番号53ですが、市の取組むことで補助金の関係になりますが、B型肝炎ワクチンについて補助される予定があるか伺いました。これは血液を介するもので、保育園の子どもたちが持っている場合、保育者への感染リスクを抱えていますが、それがあまり分かっていない部分があると感じています。また、金額も高いものなので、そういった補助について、今後の参考にとなっていますが、具体的に検討していただく場所がありますか。

吉永会長：こういった話は医師会の方でも話し合われているのでしょうか。

風張委員：今の段階としては、1歳未満の子どもたちは公費になっています。これは、周囲の人からうつることを予防するということから始まった事業ですが、保育者や学校の先生までは広がっていない状況かと思います。ただ、B型肝炎に関していうと、血液だけではなく、嘔みつかれる等唾液からでもうつるものなので、そういうことを検討していただくと良い事業になると思います。

吉永会長：ぜひ、重要な事項なので「参考」となっていますので、お願いしたいと思います。

鈴木副会長：保育を行う側としてはスルーしがちなところですが、保育者・教育者も守っていないといけないと感じています。インフルエンザなどは接種補助があるかと思いますが、B型肝炎ワクチンは金額が高いためか、自分からは打たない方が多いので、そういったものが率先してあると良いかと思いました。

風張委員：インフルエンザは毎年打ちますが、B型肝炎ワクチンは3回打つと終了なので、実はインフルエンザより大事かもしれません。

鈴木副会長：特に保育者の方が認識されていない部分で、危険にさらされているので、そ

ういう部分で保育者を守っていければと思います。

子育て推進課長：費用補助については、風張委員のご意見も踏まえて、今後の参考とさせていただきます。

関野委員：矢口委員や馬場委員の意見で、検討の時期を考えてもらいたいとの話がありました。具体的に時期を示すのは難しいとは思いますが、例えば、短期なら来年度、中長期なら3年後、長期なら10年後を見据えるものというものがあると思うので、事業者としては出来るだけ短期のものは早く検討結果を伝えてもらいたいですし、あるいは、これは短期的なものとの方針を示していただけるとありがたいと思います。これは、資料の中に落とし込むものではないかもしれませんが、検討していただければと思います。

子育て推進課長：各課題に対しては、短期・中長期的なもので分けられていくと思いますが、様々な視点があるかと思しますので、時期の区分を事業者の方々と検討の中で示していきたいと思えます。

吉永会長：資料1のP11番号50に小林委員から、色々取り組んでいくと思うが、市独自の取り組みを今後作っていても良いのではないかとの意見をいただきました。今上がっている意見の中でも、ユニークなものも含まれていましたし、時間軸でみせていって欲しいというご意見もあり、そういったところも市独自で進められることがあると良いと思えました。いずれにしても、皆さんが意見を出して下さることが、子どもの施策や体制作りを進めていくことだと思えますので、今回はたくさん意見を聞いて良かったと思えます。

それでは、承認に入っていきたいと思えます。「地域の保育ニーズに対応した教育・保育施設の確保等について」検討報告書（案）について、承認でよろしいでしょうか。Webexの挙手ボタンを押してください。

（一同：異議なし）

ありがとうございます。また、細かい字句の訂正等については、会長及び事務局に一任していただくということでよろしいでしょうか。

（一同：異議なし）

4 報告

吉永会長：それでは、事務局から報告をしていただきます。質疑はすべての報告が終わったあと時間をとりますのでよろしくお願いいたします。

[報告事項(1)～(5)の報告]

吉永会長：今の報告についてご質問ある方お願いします。

矢口委員：資料3についてですが、2022年度の0・1歳の申込み人数が増えています。昨年より保育が必要な方が多いことが見て取れますが、ホームページにはすでに2次選考の募集人数が発表されています。ここで、1次選考が終わった後、1歳児に80人の空きがあることが分かります。資料3とは別に2次選考の募集の状況を出さないと、待機児童が非常に多いと見えてしまいます。今全部が埋まっているのではなく、空いているところもあることを説明した方が良いと思います。

保育・幼稚園課長：現在、2月16日を申込みの締め切りとして、2次選考の募集を行っています。今回保留になった方などから、2次募集で内定する方もいらっしゃるしますので、その結果を速報値として、年齢ごとに待機児童数を報告させていただきます。

矢口委員：他の委員の方にも、施設が足りないというだけではなく、定員に余裕があるということが分かるように出さないと、ニーズがどれくらいあるのか分からないと思うので説明をさせていただきました。

駒津委員：同じく資料3になりますが、募集人数が31人減ったのに対して、応募人数が107人増えたとありますが、申込みが増えた原因は分かっているのでしょうか。昨年との比較なので、昨年が少なかったのか、今年は事情があって増えているのか、今後も増加見込みなのか分かりますでしょうか。

保育・幼稚園課長：増要因については、昨年はコロナ控えが要因の一つにあるかと思えます。また、南・堺地域の新規マンションの影響もあると思っています。

駒津委員：これは市としては予想通りでしょうか。思っていたよりも増えた感じでしょうか。

保育・幼稚園課長：今時点では、想定よりも申込みが多いという印象を持っています。

吉永会長：他はいかがですか。澤井委員いかがですか。

澤井委員：特段ありませんが、全体を通してですが、今若手の経済界のメンバーで町田をもっと良くしていこうと議論をしています。その中で、一つのテーマとして教育の充実というものがいつも出てきます。この会議や今後の教育行政の充実を願っております。

吉永会長：他に質問がないようであれば、その他に進みます。

5 その他

吉永会長：その他、何かございますか。他になれば、進行を事務局にお返しします。

子ども総務課企画総務係長：先ほど来年度の予定をお話しさせていただきましたが、町田市子ども・子育て会議第4期委員の任期は2022年3月31日までとなります。新年度からは、新たな委員構成で会議を開催させていただきます。長い期間ありがとうございました。それでは、今回が第4期委員での最後の会議となりますので、第4期の総括を吉永会長と鈴木副会長からお願いしてもよろしいでしょうか。

鈴木副会長：分からない中での手探りでの状態で、さらにコロナ禍での開催で通常と違いかたちということで、その違いかたちのみを経験した様かなと思っています。私は玉川大学で保育者の養成をしていますが、子ども・子育ては大切なことで、保育の質の向上などは本当に重要な事だと思っています。これを第一歩として町田市の教育・保育の質の向上、子ども・子育てが盛んになることを願ってやみません。あまり意見は出せませんでした。町田市の発展を祈念しております。ありがとうございました。

吉永会長：あっという間に終わってしまった2年間でしたが、最初は書面会議しかできなかったところ、次は書面と動画視聴を組み合わせた会議、今回のような遠隔会議と一步一步環境の変化に適応して子ども・子育て会議を展開することができました。皆様のご協力あってのことだと考えています。

先程説明がありましたが、資料5のレーダーチャートで町田市が100点を取っている項目があります。このレーダーチャートは市民に公開されていて、市民が町田市の状況を見守るということが、子どもにやさしいまちとして町田市がやっていくための大切な条件になっています。100点の項目があることは大変素晴らしいことですが、引っ込んでいるところを今後は高めていくことが大切だと思っています。裏面に検討中ということで出ている、項目9-1「幅広く適切な範囲のNPO、企業等とのパートナーシップ」は今この会議に出席されている市民のみなさんと一緒に進めていくという意味なので、ぜひそのところを今後も力をあわせてやっていければと思っています。今度、子ども家庭庁ができるようですが、国の動きはゆっくりとしています。ローカルな自治体が、子どもの施策ではリードしていける場所だと感じています。ぜひ皆さんもこの会議を経験したということ、周りに広めていただいて、これからも色々一緒できればと思っています。本当にご協力ありがとうございました。

6 おわりに

子ども総務課企画総務係長：鈴木副会長、吉永会長、ありがとうございました。そして、

第4期委員の皆様も本当にありがとうございました。

以上をもちまして、2021年度 第4回 町田市子ども・子育て会議を閉会いたします。ありがとうございました。